

平成29年度 地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金 実施事業

◆地方創生推進交付金 平成29年度事業:補助率1/2

【単独】

しごと創生(富士山の恵みを活かしたしごと創生事業):地域資源を生かしたしごと創生により、地域の活性化と新たな就業・起業の場の確保を図り、人口の流出を食い止める。

(単位:円)

事業	事業内容	費目	予算額	決算額	実績・取組状況	事業効果・今後の展開	課
1 UIJターン者就業支援事業	保護者と学生向けの就職セミナー・ガイダンスの開催	委託料	1,167,000	1,166,000	・富士・富士宮合同企業ガイダンスへの助成を行い、203人が来場。	・市内企業の求人情報や魅力を、企業ガイダンスやセミナーを通じて発信し、地元の企業情報を身近に感じる環境をつくることで、UIJターンによる就業を促進している。 ・今後は、進学や就職を控えた高校生を対象として、地元企業説明会を実施し、将来にも役立つ企業情報を発信したい。	商工振興課
	富士・富士宮合同企業ガイダンスへの助成	補助金	400,000	400,000	・首都圏大学生向けの富士宮市合同企業ガイダンスin東京を実施、15人が来場 市内高校生向けの優良企業とお金を学ぶセミナーを実施、41人が来場		
2 商店街活性化事業	商店街実施イベントに対する助成(宮町商店街)	補助金	2,000,000	2,000,000	宮町商店街歩行者天国(宮町まつり) ・・・6/18,9/24,12/24,3/25(計4回実施)	・にぎわいのある商店街の創出により、それを担う地域人材の育成と集客が図れている。 ・にぎわいを創出のため、各種イベントを継続的に実施し、商店街全体の活性化を目指す。	商工振興課
3 富士宮市空き店舗等対策事業費	商店街の空き店舗又は空地に出店した者に対する助成	補助金	5,000,000	4,143,500	・「今村眼鏡店」(眼鏡販売)、「ゆほびか工房かりんこ13」(衣料品販売)、「ジंक/ゴテン」(飲食店・宿泊施設)、「富士山神田川楽座」(飲食・土産物販売)の4店舗が開店した。 ・出店の相談は22件あった。	・空き店舗等を減少させることにより、中心市街地の活性化と地域経済の発展が図れている。また、まちなかの回遊と集客力が見込める飲食店が増えたことは大きい。 ・世界遺産のまちづくり事業との連動もしながら、中心市街地の更なる活性化を促すため、今後も事業を継続していく。	商工振興課
4 地域支援サービス出張商店街プロジェクト	市内北部・芝川地域への商店街の商品の出張販売	委託料	5,440,000	5,440,000	・出張販売会を、16会場39回開催 ・買い物バスツアーを実施(前年度まで北部地域と芝川地域を分けて1回ずつ開催していたものを、合同で1回実施122名が参加)	・事業が地域に浸透し、地域住民同士だけでなく地域住民と店主との地域間交流が図られている。社会福祉協議会、健康増進課、警察署との連携により、地域の見守りや健康、防犯意識の向上にもつながっている。北部・芝川地区住民が商店街へ出向くきっかけづくりにもなっている。 ・出店者に地域寄り合い処へ参加していただいたり、会場に喫茶スペースを作り、滞留時間を延ばしたりすることで、より交流ができる場としていく。	企画戦略課
5 茶園転換支援事業	茶園から普通畑への転換を図る農家への助成	補助金	3,500,000	1,230,000	・茶園からその他作物等への転換するための農地整備費に対する支援。 ・1アール当たり14,000円補助。	・茶園が耕作放棄地になる前に、他作物への転換を考えている農業者には、抜根の補助があるため取り組みやすい。また、農地を探している担い手へ抜根を合わせた農地の貸借を推進することができた。 ・更なる制度の周知(年2回広報での周知や農業委員会への制度説明を実施)	農業政策課
6 既存宿泊施設整備事業	宿泊施設がリフォームを行うことに対する助成	補助金	5,000,000	3,300,000	・市内の既存宿泊施設が、施設の増改築工事並びに宿泊施設の設置及び改修工事を行う場合に、工事費の1/2以内で上限100万円の助成を行う。 ・5件の既存宿泊施設が実施。	・既存宿泊施設的环境(主に、水回りや風呂場など)が整備され、宿泊客がより快適に過ごせるようになった。 ・H30年度から外国人利用環境整備事業に内容を変更して、外国人誘客に結びつけるように展開する。	観光課
合計額				17,679,500			

有識者会議における評価

A

【有識者会議における評価】

A:総合戦略の推進に有効だった
B:総合戦略の推進に有効とは言えない

平成29年度 地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金 実施事業

◆地方創生推進交付金 平成29年度事業:1/2

働き方改革(富士宮発 女性が輝くための働き方改革プロジェクト):女性の労働・雇用だけでなく、様々な面で社会に参画できる機会を設け、男女ともにワークライフバランスを実現させる。

(単位:円)

事業	事業内容	費目	予算額	決算額	実績・取組状況	事業効果・今後の展開	課	
7	女性の活躍応援事業	女性応援会議の設置、シンポジウム開催、各種講座開催	報償費	738,000	435,902	<ul style="list-style-type: none"> ・女性応援会議を2回開催。会議では、実施事業の報告と、女性活躍に資する今後の取組について意見交換を行った。 ・フォトコンテスト、イクボス講座、女性活躍に関する講演会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の家庭参画や女性自身の意識を高めるための施策を実施し、女性が活躍できる社会づくりに資することができた。 ・女性応援会議から提案のあったイクボスの取組は、教育現場や民間会社に広まるきっかけとなった。 ・引き続き市民に対し講座・講演を開催し、ソフト面に訴え続ける一方、ライフステージに合わせた女性の生き方や働き方について、企業と話し合いながら支援していく。 	市民交流課
8	ハハラッチ(母目線での情報発信)事業	ママ記者による情報発信(ママ記者の養成・ブログ開設)	委託料	2,000,000	2,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期生ライターを公募。ハハラッチ養成講座を6回実施で7名を養成した。1期生と合わせ、15名の記者がHPやフェイスブック等で情報発信した。 ・市内ベビーステーションと、公園などのお出かけ情報が記載された「おでかけマップ」の作成にも携わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のお母さんたちのスキルアップの場だけでなく、社会参画のきっかけにもつながった。同時に、子育て目線で富士宮市の魅力を市内外に発信できた。 ・引き続きライターを養成し、支援しつつ、記事の更新頻度をあげて便利で安心できる情報発信をしていく。 	市民交流課
9	出会い・交流応援事業	独身の若者男女を対象に、出会い・交流イベントを開催	委託料	900,000	900,000	<ul style="list-style-type: none"> ・6月及び10月の2回開催。恋愛、結婚に対する意識醸成のためのセミナー、ワークショップおよびラフティング・バーベキューによる交流イベント、マッチングイベントを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各回35名の独身男女の参加があり、若者の出会い、交流の場を創出し、恋愛、結婚に対する機運の醸成が図られた。マッチングイベントでは6月:9組、10月:6組のマッチング成立であったが、その後の状況は追跡できない。参考値としては参加者アンケートより、参加者の約6割が恋愛、結婚に対する意識が高まり、また参加者の6割が80%以上の満足度との回答を得た。 ・イベント内容について、現在の富士川ラフティング・バーベキューに代わるイベント内容により実施することを今後検討していく。 	市民交流課
10	誕生時の「たすき帖」の配布	家族の絆を次世代へつなげるためのノートの配布	需用費	1,733,000	1,650,000	<p>配付実績 配布期間:平成30年4月～平成31年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付冊数:973冊 ・月平均 :81冊 ・日平均 :2.7冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・「たすき帖」は、子どもが20歳になるまでの記録を記し、成人した子どもに渡すことにより、それぞれの家族の絆が深まるというコンセプトのものであり、すぐに事業効果を図ることはできない。長期的な視点に立てば、この「たすき帖」を書くことにより、子どもを慈しむ気持ちが浸透していけば、現在社会問題となっている児童虐待なども未然に防げるのではないかと考える。 ・平成30年度からは、窓口での配布に加え、子育て中の親子が集う地域子育て支援センターや子育てサロン等に職員が出向いて未配布の保護者に配布予定。 	子ども未来課
合計額				4,985,902				

有識者会議における評価

A

【有識者会議における評価】

A:総合戦略の推進に有効だった

B:総合戦略の推進に有効とは言えない

平成29年度 地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金 実施事業

◆地方創生推進交付金 平成29年度事業:1/2

【広域】

しごと創生(富士山3776型広域DMO推進事業):富士市と共同でDMO(観光地域づくりの推進組織)の設置に向けた検討を行う。

(単位:円)

事業	事業内容	費目	予算額	決算額	実績・取組状況	事業効果・今後の展開	課
11 富士山3776型広域DMO推進事業	富士宮市・富士市をひとつのDMOのエリアとして、継続的なマーケットリサーチの実践と研究、マーケティングの再整理、再収集、再分析によるターゲット分析、主なターゲットに向けたプロモーション政策の立案に取り組むとともにDMOが担うべき役割・機能について整理した。	負担金	3,000,000	2,997,540	1 調査(富士宮市・富士市) (1)地域概況調査 国や県の既存統計調査、宿泊施設調査24か所(11月～1月) (2)訪問客調査 【日本人】対面調査6か所(530件)、留置調査40か所(147件) 【外国人】留置調査36か所(90件) (3)団体ツアー調査 旅行代理店WEB・会員誌調査58件、旅行代理店ヒアリング調査6件 2 関係団体ヒアリング調査 3 DMO推進体制の構築の方向性について整理	・関係観光施設に説明会等を行いながら、様々な調査を実施できた。一つひとつの調査について継続性・有効性等を検証するとともに、データ内容も分析し、富士地域の課題整理とDMO推進体制の方向性についても協議できた。 ・引き続き、質と継続性(コスト面)の調査を追求していく。H29年度に得られたデータから明確になった課題の解決に向けて、コンテンツ開発等の実践活動に着手するとともに、活動を通じて、各団体の役割やDMO推進体制について整理していく。	観光課
12 地域の強みを活かした着地型観光の推進	・富士山西麓パスポートの作成及び設置、WEBサイトの拡充、都市圏セールス、外国語版交通案内パンフレット及びポスター作成 ・田貫湖キャンプ場エリア整備基本構想策定	負担金 委託料	1,300,000 7,000,000	1,100,000 4,320,000	・富士山西麓物語パスポートを日本語18,000冊、英語13,000冊作成し、約94か所に設置。WEBサイトの拡充。東京・名古屋・大阪セールス(述べ5日間)。外国語版交通案内パンフレット(英語、中国語繁体語、中国語簡体語、タイ語各5,000部)作成、交通案内情報ツール類ポスター100枚作成 ・田貫湖キャンプ場エリア整備基本構想策定	・富士河口湖町、富士急行と連携し、二次交通の格安チケット(富士山西麓バス周遊きっぷ)が販売できたこと、これを使って合同で誘客セールスできたことが大きい。周遊チケットは毎月約200枚(半分は外国人)が販売されているが、このチケットをきっかけに、市内定期観光バス「強力くん」の乗車数が増加するなど、富士宮市にとっても成果が出始めている。 ・パンフレット、ポスター、WEB等、基本的なセールスツールを作成できたため、これからは国内外に向けてPRしていく。	観光課
13 観光客誘客活動受入体制整備事業(観光プロモーションの推進)	商店街及びタクシー協会における着地型コンテンツ開発ワークショップの実施、テストツアーの実施、セールスツール(パンフレット、タクシーセルフガイドシート等)の作成、国内外での商談会参加及びエージェント訪問の実施、高速バスのラッピング、静岡駅PRビジョンでの誘客広告	委託料 旅費 広告料	3,900,000 1,160,000 1,189,000	3,898,800 1,033,000 1,188,000	着地型コンテンツ開発ワークショップ(全体3回、商店街6回、タクシー協会6回)、外国人テストツアー(6回、66人)、商店街英語パネル作成(3店舗)、タクシードライバーセルフガイドシート及びタクシー定額プランコース表作成(英語)、静岡駅・高速バス・SNSでの情報発信。	・着地型・体験型外国人向け観光商品が複数販売できたのが大きい。 ・エージェントセールスについては、主に団体向け富士登山ツアー等で大きな成果が出ている。 ・コンテンツ開発を継続していくとともに、販路開拓や国内外に向けての情報発信に重きをおいていく。	観光課
合計額				14,537,340			

有識者会議における評価

A

【有識者会議における評価】

A: 総合戦略の推進に有効だった

B: 総合戦略の推進に有効とは言えない